

は町ゴミ許可業者が処理。
⑦全国の観光客に県の代表的特産品・味覚の提供をアピールする本格的施設。町としてもビジネスチャンスとして農工商の振興になり、町発展の起爆剤になるよう努力する。

黒崎町に進出予定の企業の名称などは コメリ、トナミ運輸など申請が出ている

A議員 黒崎町に進出予定の企業について ①進出予定企業名と予定所在地、面積等は。②各用途地域内に進出できる企業の種類は。③町の今後の方向づけと対応は。

町長 ①農政サイドで把握しているものに、(株)コメリが山田に6万4660平方メートル、新潟交通(株)がバスターミナル用地として立山小学校わきに1万9266平方メートル、トナミ運輸がトラックターミナル用地として北場下田割のガスタンク基地わきに4万8644平方メートル、エプリスベクトフードが農協鳥原支所付近に5735平方メートル。以上が農振法の申請が出ている。農振法申請の予定・計画のあるものはどうなっているか。③生活

としてトナミ運輸の付近に数社。黒崎町分としては2万5054平方メートル。②全町が都市計画法の都市計画区域であり、市街化区域と市街化調整区域に分けられている。市街化区域は用途区域が指定されている。各用途地域ごとに適した利用が定められている。③都市計画法の基本理念を尊重し、健康で文化的な都市活動ができるよう計画的合理的に土地利用を図っていききたい。企画開発課長 大野の商店街から他の場所へ移転しようとする一定面積の併用店舗なら住居地域などへ進出できる。日用品の販売・加工を営む店舗は市街化調整区域への進出も可能。

生活用道路や排水の整備計画は 財政を勘案し整備を進めている

A議員 環境整備について ①生活用道路の整備計画は。②住居地内の排水整備計画はどうなっているか。③生活

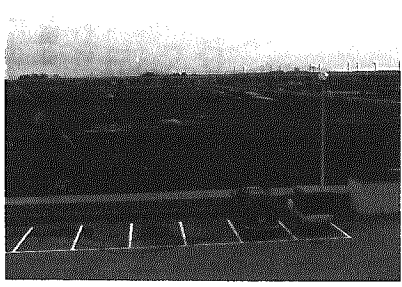
関連道路の街灯の設置について。④国道8号線ボックスの活用について。
町長 ①国の補助事業を除き

うのが819台。③信号機については、職員インター開通後に

総合庁舎建設予定地の利用計画は 多目的運動広場として整備をする

D議員 総合庁舎建設予定地の有効利用計画の内容を明らかにしてほしい。

町長 多目的運動広場として一周200メートル、直線100メートル



総合庁舎予定地

の走路がとれ、ソフトボール、運動会などもできるようなグラウンドに。面積8000平方メートルを計画している。社会教育課長 用途別の区分なく、あくまで多目的。だれでも目的に応じて使用できるものに。良質土1センチ盛って整地したい。ゲートボールコートは現在2面あるが、あとは整地された中で利用を。砂塵については管理面で十分注意したい。緑地帯は5千6千平方メートル。民具愛好会のホウキ草についてはほかのところを探そうということでも了承済み。

家庭奉仕員の増員、待遇改善を 必要あれば増員したいと考える

D議員 家庭奉仕員の充実に ついて①勤務内容、待遇などはどうか。②訪問先の老人、障害別、費用徴収はどうか。③家庭奉仕員の増員、待遇改善、また費用徴収の廃止はできないか。

町長 ①社会福祉協議会が業務委託した4人に対応。身体介護、家事援助、相談などに当たっている。委託料は現年度で810万1千円支出。②平成

2年3月14日現在で26人がサービスを受けている。うち身障者手帳を持つ者6人。条例4条の所得税額3万円未満世帯は2世帯で2万3430円徴収、3万円以下世帯は6世帯で25万4470円を徴収している。

③現状では必要ないという話。今後、必要があれば、増員したいと考えている。委託料を平成2年度予算で2.3%増、828万

財政を勘案し整備を進めている。今後も地域からの要望に応えるべく整備を進める。②国補助の都市下水整備に合わ



大野都市下水路

町道第2須上線歩道の拡幅整備を 町の負担を軽減して事業化したい

B議員 交通安全対策に町道第2須上線の歩道の拡幅を。

町長 須上線、金巻排水路第2須上線を一体として改良することが望ましいと考えている。改良に要する事業費が多額になるため、土地改良事業として採択されるようお願いし、経費負担軽減を図りたいが、現状では難しい。町単独でやるとして水路の改良に2億1500万円、歩道整備に6400万円かかる計算で、財政的に不可能と思う。地元、



第2須上線(総合体育館わき)

「ねたきりゼロ」を目指す黒崎町に 地域ぐるみの健康推進根づかせたい

B議員 福祉対策について

①在宅ねたきり老人に訪問簡

円支出。費用徴収の廃止は考

えていない。

婦人科検診を市内の病院でできないか 済生会病院が開業した時点で検討する

E議員 婦人科検診について ①現在の受診状況は。②バスの中でやるような形は感心しない。新潟市内の病院などで受けられるようにできないか。町長 ①昭和63年度210人、平成元年度278人。②済生会病院が開業した時点で検討したい。

保健衛生課長 ②巻、西川では施設検診が100%。郡医師会では郡の指定された病院でということだが、新潟市は含まれていない。地域の専門医院のあることが条件。町の受け入れ体制が整った段階で検討したい。

学童保育についての町長の見解は いいことだが行政需要増大で困難

E議員 学童保育について ①新年度(1990年度)の留守家庭児童の学校別人数は。②学童保育についてアンケートを実施してはどうか。③学童保育について町長の見解は。町長 ①学校の調査で正確

な数に該当するかどうかはわからないが、黒鳥小12人、木場小8人、山田小53人、大野小75人、板井小6人、立山小23人で計177人。②③いいことだと思う。しかし行政需要が増大していて、現時点での実施は困難。我々の時代は仲間同士で助け合い連帯感があった。今は預かってもらいがケガしたり等々利己的に。趣旨はわかるが、足りないところを互いに助けるといって考えで理解を。したがってアンケートも現時点では実施する考えはない。

科診療制度を。すでに実施しているそうだが。②「ねたきりゼロ」を目指す黒崎町に。

町長 ①在宅ねたきり老人への訪問歯科診療は郡歯科医師会の協力いただき、平成元年7月から実施。お知らせしなかったことを大変申し訳なく思っている。今後、このようなことのないよう広報掲載など十分注意しながら、指導していきたい。②だれしも望んでいることで、早期発見・早期治療を目的とした基本検診を始め各種検診と指導会を実施している。健康教育、講演会、健康展なども開催。新年度から、地域ぐるみの健康推進事業を根づかせるようにしたい。

広域農道の維持管理はどかがしている 1号、2号、5号、とも町が維持管理

C議員 広域農道の維持管理について ①広域農道の維持管理は県か町か。②広域1号2号5号の1日の交通量および給キロ数は。③今後交通量の増加による対策、信号機の計画内容について。

町長 ①1号と2号については昭和60年3月と昭和62年4月に県から譲りを受け、昭和60年9月と昭和63年3月にそれぞれ町道認定し、町で管理している。5号は平成元年7月に管理協定を結んで、この定例会で認定をお願いし、町で管理を行う。②1日交通量は調査していない。キロ数は1号2818台、2号2100台、5号2111台。③昨年3月に西バイパス新インターが開通し、車の流れが大きく変わり、国道116号と8号を結ぶ近道として、広域農道を利用する車が多くなって



広域農道5号(木場大南橋付近)

る。西バイパスが開通しなくては解消しない問題なので、早期開通を要望していきたい。広域5号大南橋交差点を最優先に警察に要望していきたい。総務課長 ②朝7時から8時30分までの交通量を参考までにあげると、西川から黒鳥方へ向かう台数は940台、新潟から広域農道へは437台(平成元年9月7日調査)。11月21日調査では黒鳥から北場へ向か

超過負担となる見込み。国の基準に対する90%95%を考慮していた。保育所運営委員会は国と同じく簡素合理化し、保育料も全体で3.76%引き上げで了承された。今までC1からD12までの15区分だったのが3から10までの8区分に。平均で7.4%、827円の引き上げを考えている。

E議員 保育料について ①国の基準と同じく10階層にしたのはなぜか。②前の17階層と比較して徴収額はどうなるのか。

町長 毎年国で定める基準に基づくとことになっている。国では62年度に17階層から10階層に改訂した。町の徴収率は国の基準の86.24%で大幅な

回収率向上に努力したい。②保健衛生課発注の印刷物は再生紙を利用(ゴミ収集日程表)。③積極的にやっていた。今年2月の課長会議で再生紙の使用について協議した。可能なものからやっていたい。

再生紙の利用をすすめているか 今後、積極的に使用したい

F議員 古紙のリサイクルについて ①森林資源保護とゴミ減量化のためにも古紙の回収に取り組みむべきと思うがどうか。②再生紙の使用は行っているか。③今後、再生紙の使用は積極的にしていく考えか。

町長 ①廃品回収業者による

生ゴミ処理器購入を助成するそうだが ゴミの有効利用とゴミの減量化のため

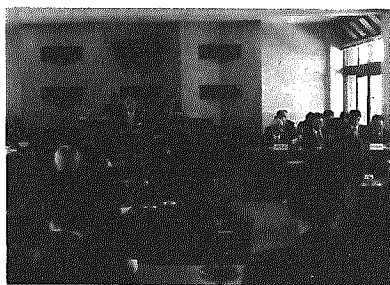
F議員 環境衛生について ①家庭用生ゴミ処理器購入費の助成について。②空カン、ゴミが目につくが、クリーン作戦デイをもうけたらどうか。町長 ①平成2年度の予算に計上。ゴミの有効利用とゴミ量増大に歯どめをかけるため助成。②昭和55年度から保健委員、衛生委員を中心に空カン・ゴミ拾いをしてい



老人会の空カン、ゴミ拾い

かし数日後には元の木阿弥に

保育料を10階層にしたのはなぜか 国が基準を改訂したのにあわせた



3月定例会